

# 長尾福祉会報

平成23年4月1日

第23号



—長尾福祉会理念— 障害をもっていても もっていなくても 男も女も  
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる社会づくりをめざします。

## もくじ

開設15周年を迎えて	2
人生ゆたか 老後ゆたか ~小学生との交流を通して~	2

### デイサービスセンターゆたか

好奇心旺盛に！	3
---------	---

### ゆたか荘

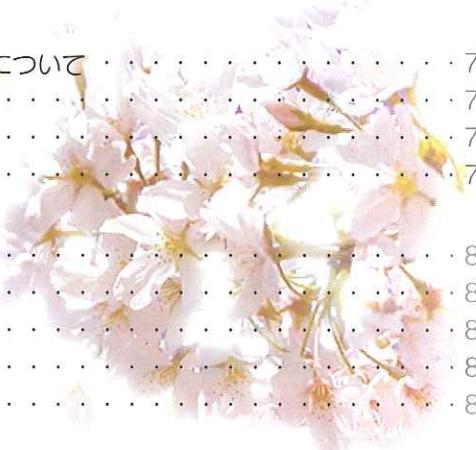
開荘11周年記念	4
ゆたか荘でのリハビリ	4
チームで支える	4
たっぷりの“福”が舞い込んだ！	5
一人鍋	5
ひなまつり茶会	5

### のぞみ園

親子共同作業	6
日帰り旅行	6
もちつき	6
新しいお友達	6

事業体系の変更について	7
私の宝物	7
卓球大会	7
ひなまつり茶会	7

新任職員紹介	8
ご支援ありがとうございました	8
洗濯機・布団乾燥機をいただきました	8
ゆたか荘エコプロジェクト	8
編集後記	8



## 開設15周年を迎えて

障害者支援施設のぞみ園  
園長 松木 正美

固いつぼみから花びらが開き、花が咲くようにのぞみ園では、寒い、冷たい冬を無事乗り切り、温かい春を迎えることができました。岡山県玉野おもちゃ王国へバス3台での日帰り旅行、さぬき警察署の若い署員の参加と協力によって行われたもちつき大会、地域の方々が沢山参加いたひなまつり茶会等、のぞみ園が昨年実施した多くの行事に地域やご家族の方々、ボランティアの皆さんのご参加、ご協力を賜り、大変ありがとうございました。

利用者の方々は人ととの優しい出会いを通して、楽しいひとときを過ごすことができました。

今年は知的障害者更生施設としてのぞみ園が開設して15周年を迎えます。故村尾トヨ子園長の「障害をもつていても、もっていなくても、男も女も「生まれておめでとう、成長しておめでとう、長生きしておめでとう」といえる社会づくりをめざします。」という理念を実現するため、新たな気持ちで取り組んでいきたいと思います。

新体系に移行し、障害者支援施設のぞみ園として3年目を迎える体制的には落ち着きましたが、地域移行への取り組み課題は山積みしています。障害者総合福祉法の制定等、不安定な今後の国の障害者施策の動向を十分見極めながら、障害者の支援施設としての役割を確実に果たし、本年度の目標と課題の達成に向け、努力していきたいと思っています。

本年、園長に就任しましたが、経験不足ですので、皆様方のご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、今後とものぞみ園に対して変わらぬご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### —23年度の目標と課題—

#### のぞみ園

##### 目標

- 利用者の意思および人格の尊重
- 就労支援への取り組みの推進
- ゆたか荘との連携

##### 課題

- 各事業の円滑な実施と経営の安定
- 的確な個別支援計画の作成と実施
- リスクマネジメントの徹底
- グループホーム移行への検討
- 児童デイサービス事業の充実
- 相談支援事業の充実



## 人生ゆたか 老後ゆたか

小学生との交流を通して

特別養護老人ホームゆたか荘  
施設長 朝倉 裕子

桜の開花とともに柔らかな春の陽射しの中、街の景色も淡いピンク色に染まっています。心地よいそよ風に心も弾む季節です。

ゆたか荘も十一周年を迎え、「地域の中の施設」として、清掃活動や防犯・交通パトロール、小学生への福祉啓発活動等、地域活動に積極的に参加しています。福祉の専門性を活かした活動はまだ少ない状況ですが、「福祉の専門家団体」として、地域から求められる活動を今後も充実させていきたいと思っています。

昨年は近くの小学生達が授業の中で何度もゆたか荘を訪れ、折り紙やけん玉、駒回し等の昔の遊びをお年寄り様と一緒に楽しみました。百歳過ぎた方も、昔元気に遊んでいた頃を思い出し、生き生きとした表情で小学生に教えたり、温かな眼差しで見守ったり・助けたりすることで、お互いが優しい気持ちでいい時間を過ごされています。お年寄り様との交流を通して、このように「思いやりや優しさ」が地域社会全体に広がっています。お年寄り様との交流を通して、このようにいくことを願っております。

今年度も、ゆたか荘は一人ひとりに向き合い、日々の楽しみや生きがいを大切にしながら、心豊かな生活が送れますようお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### —23年度の目標と課題—

#### ゆたか荘

##### 目標

- 地域貢献活動の充実
- 一人ひとりの人権を尊重し、利用者様の希望を優先したサービスの提供
- ご家族様との交流・連携

##### 課題

- 地域への福祉貢献活動
- 職員研修の充実
- 家族会の充実
- ご家族様との交流・連携
- 他職種連携の上での、ターミナルケアの実践



# デイサービスセンター ゆたか



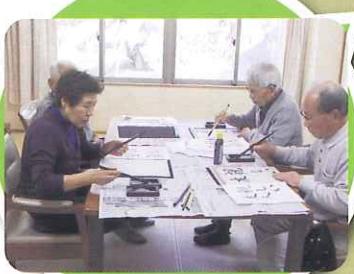
娯楽室

檜風呂

岩風呂



庭園



和室



給食室

公文学習スペース



機能訓練スペース



オープンスペース



花の便りもあちこちで聞かれる時候になり、デイサービスから見える野山にも色めぐ様子がみられるようになります。六年前の一月十五日、利用者四名、職員五名でスタートしたデイサービスでしたが多くの方々にお越し頂いております。館内では広々としたスペースのなかでゆったりとお過ごし頂けるよう、場所ごとに目的を持つたサービスを提供しております。

環境面だけでなく私たちがこの六年間で培った経験に自信を持ちながら、又、今後も利用者の方の感想であつたり、家族の方からの要望をできる限りサービスに反映していけるよう取り組んでまいります。課題もまだまだあります。が、一步ずつ前進していきたいと思っています。

今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

**好奇心旺盛に！**

所長 矢野 勝久

# ゆたか荘

## 開荘11周年記念

介護職員 松家 大典

3月1日、ゆたか荘11周年を迎える事ができました。これも利用者様をはじめ、家族、地域の方々のお陰です。

11周年を迎えた3月1日にゆたか荘にて、開荘11周年を祝う会が行われ、バイキング会食とカラオケを楽しみました。バイキングでは、エビフライ、ハンバーグ、カレー、うどん、焼き込みご飯、サラダ、なますといったさまざまな料理を職員共々食し、普段と違う雰囲気の中、自然とお箸が進む方ばかりでした。バイキングの後はカラオケ大会を行い、皆様の好みの曲を歌って頂きました。歌っている利用者様の姿は、いきいきとし、そして真剣で普段見られない一面が垣間見えていました。カラオケの途中より、コーヒーとケーキを食べて頂き、皆様大変喜んで頂きました。



### チームで支える

介護支援専門員

矢武 忠明

22年度よりご家族の方にも参加していただき、サービス担当者会議を行っております。平日の開催にもかかわらず、お忙しい中ほとんどのご家族様に参加していただいている。サービス担当者会議では、ケアプランに対するお話をもちろん、利用者様やご家族様のご希望やお気持ち、施設での生活状況、また利用者様がご自宅で生活されてきた頃のお話や趣味などいろいろなお話をさせていただいている。サービス担当者会議を行う事で利用者様を主体に、ご家族様、各専門職が一つのチームになって、その人らしい生活を支えられる、より良いケアの提供ができると思っています。



ゆたか荘では、現在2名の機能訓練指導員がリハビリに携わっています。

機能の回復を目的としたリハビリ専門病院や老健施設とは違い、特養では、日々の生活に寄り添う支援が主体となります。そのため、理学療法士や作業療法士等の専門スタッフはいませんが、定期的に樺村病院の理学療法士である坂口先生にアドバイスを頂きながら、日常生活の維持を目標に、生活

リハビリを実施しています。例えば、車椅子に座つたままでもできる運動や指の体操、平行棒を使用しての歩行訓練、また口腔体操など一人ひとり個別の状態に応じて行っています。

ただ、生活の場で機能訓練を実施しても思うように訓練の成果は目に見えて向上しない場合もあります。また、日々老化は進んでおり、使用性の機能低下を防ぐことも難しいのが現状です。

こうした中においても、いま出来ていることの維持、出来る可能性を引き出し、ゆっくり、無理をせず、コミュニケーションなどの関わりを大切にしながら、楽しい雰囲気の中で、今後も継続した支援を心掛けていきたいと思います。



お元気です。102歳!!

### ゆたか荘でのリハビリ

機能訓練指導員

大西 里花

## たっぷりの“福”が舞い込んだ！

主任生活相談員 新開 正義

つい先日新しい年を迎えたのに、早いこともう四月。よく一月をイヌ、二月をニゲル、三月をサルと言いますが、本当にあつという間に時間が過ぎ去っているように感じます。

ここでは、少し時間を戻して、ゆたか荘で二月に行つた節分行事の紹介をさせて頂きます。

「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味を示しており、前年の邪気を追い払う追儺の行事・「豆まき」を行い、悪鬼を退治し疫癒を追い払うとともに「春を呼ぶ」という由来があるそうです。私達が生活するゆたか荘は常に平穏なのが、節分になると、この時とばかりに毎年悪鬼がやってきます。今年も赤鬼・青鬼の二体の鬼がやってきましたが、昨年と比べると何となく肉付きが良くなつたような…、弛んできたのか…。いずれにせよ、悪鬼なので退治しなくては、とのことで、御利用者・職員入り混ざつての豆まきが開戦されました。大きな声で「鬼は外」と言いながら力いっぱい鬼めがけて投げつける御利用者（と職員）、鬼の迫力に負けてか鬼の口に豆を入れてくれる御利用者など、御利用者個々で鬼に対する対応は違いましたが、手持ちの豆がなくなり、落ちている豆を拾い投げるほど力が入り、その迫力に負けた悪鬼は退散。と、昨年までは、ここで行事終了までたしめてたしましたが、今年は新たな趣向として七福神が“福”をもつて実際にやってきました。といいましても、名字が七福神の一人と同じ職員と、お腹周りの格好が似ている、との声で抜擢された職員が扮していましたが、悪鬼の登場とはまた一味違つた楽しさ、面白さがあり、良かつたと高評価を頂きました。



しっかりと身体を動かし、しっかりと大きな声を出し、そして、しっかりと笑つた節分行事。このように行事は、季節を味わう上でも非常に大切ですし、何より自然と身体が動きます。

“福”がたっぷり舞い込んだゆたか荘で、今年も一年楽しく、笑顔で御利用者の方との生活を営んでいきたいと考えています。

## 一人鍋

管理栄養士 河井 以知理

25年ぶりの大雪に見舞われた2月。ゆたか荘では一人鍋をしました。

鍋から湯気が上がるごとに「もう食べられるん?」「早くふたを取つた方が良いんじゃない?」と出来上がりが楽しみな様子。鍋のふたを取ると「まあ、こんなに食べれんわ。」という声も聞かれましたが、食べ始めるとすぐに鍋の底が見えてきました。

11月から月に一度、利用者様と職員がひつつの鍋を囲んできましたが、今日は旅館の食事の雰囲気で一人ひとりに鍋を用意し、ゆっくりと自分だけの鍋を味わつていただけたのではないでしようか?



## ひなまつり茶会

介護職員 木村 良美

三月三日の桃の節句には、ゆたか荘恒例のひなまつり茶会が行われました。ボランティアの方々が艶やかな着物姿で、利用者の皆様にお抹茶とおいしい和菓子をふるまって下さいました。おひとりおひとりに笑顔で配つてください、利用者の皆様は、その姿に「まあ、きれいな人がたくさん来てくれたなあ」とか、「お抹茶が一段とおいしいわ」などと、満面の笑みを浮かべて喜んでくださいました。また、「ひな祭り」の歌をみんなで歌い、昔話に花を咲かせました。職員が作ったおだいり様とお雛様のパネルと一緒に写真撮影も行いました。

今年の冬は格別に寒かつたですが、春はもうそこまでできているようです。



## 日帰り旅行



生活支援員 増田 朋子  
十月十七日に岡山県のおもちゃ王国へ行きました。何日も前から楽しみにされている利用者の方も多くいらっしゃいました。ご家族の方もたくさん参加していただき、天候にも恵まれ、アトラクションや買い物、見物などそれに楽しめました。また一つ思い出が増えました。



## 新しいお友達紹介

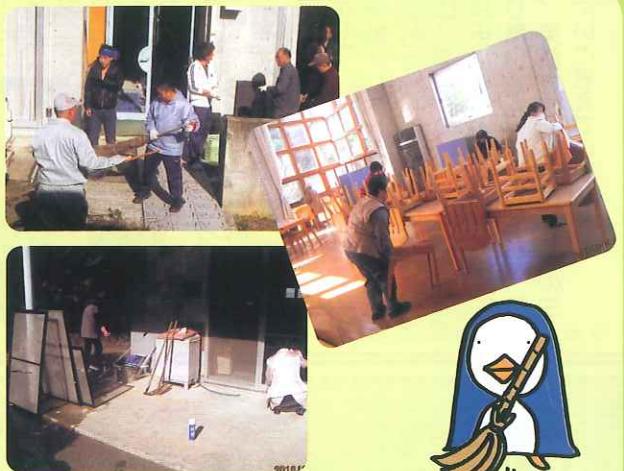


田中 由紀  
のぞみ園のみんなと楽しく過ごしたいです。よろしく御願いします。  
山賀 曜史  
十一月よりのぞみ園の南寮へ入っています。ようしくお願いします。

十一月二十七日、親子共同作業がありました。年末の大掃除も兼ねて、皆で園を掃除しました。エアコンのフィルター掃除や、高い架所の窓拭きなど、普段の掃除では行き届かない所もきれいになりました。ご参加頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。

## 親子共同作業

生活支援員 大熊 寛子



## もちつき

生活支援員 宮下 義之

十一月二十三日、「もちつき」が行われました。今年もさぬき警察署々員をはじめ多くの地域の方々に参加頂き、盛況となりました。威勢よい掛け声と共に、皆で一生懸命に餅をついたり、丸めたり。

今年を締めくくる季節感いっぱいの行事となりました。



## 事業体系の変更について

サービス管理責任者 貞廣 文

新事業体系への移行に伴い、平成二十一年三月から二年間に渡って生活訓練事業を実施してまいりました。家庭復帰を目指す方、グループホームへの移行を目指す方、それに調理実習や買い物練習を実施しました。家庭から施設への送迎を支援し、通所への定着を図り、また、グループホームでの宿泊体験を実施し、移行後を想定しての食事準備・入浴・洗濯等の練習を行ないました。その甲斐あって、6名の事業利用者のうち2名の方が家庭・グループホームへ移行できることになりましたが、残念ながら4名の方については諸々の事情により移行を断念せざるを得ませんでした。生活訓練事業そのものも、今年二月で廃止となりましたので、今後はそれに対応した日中活動の充実を目指し、少しでもステップアップを図つていければと思っています。



## 私の宝物

保護者 橋本 博子

長男直紀がのぞみ園に入園して、二十四年。職員の方々に大変良くして頂いているおかげで、帰省して我家に居る時も上機嫌で、私に膝枕をしたりして、私も一番幸せな時間です。

一昨年、次男が結婚する時、自分の大切な物を取られるような気がして、諂ひを起こしました。その時、私には直紀がいるこの子はずっと私から離れないかないとすぐ安心したことを思い出します。

人は誰かの為に生きる時、生き甲斐を感じるのではないでしょうか。直紀はかけがえの無い宝物だと思いました。私の願いは、直紀より長生きすることですが、それが叶う事は少なく不安は続きます。のぞみ園の存在は、感謝しきれない程大切です。

## 卓球大会

サービス管理責任者 岡 慎也

一月一四日、高松市総合体育館で行われた卓球大会に参加しました。四名それぞれが自分の力を発揮し、精一杯頑張りました。またそのうち二名が五位入賞し、好成績を収めるなど充実した一日となりました。

利用者 田辺 光春

卓球の試合ができる、トロフィーをもらえたことが、とてもうれしかったです。また、出たいです。



## ひなまつり茶会

生活支援員 高尾 愛

三月二十七日、恒例のひなまつり茶会が開催されました。邦楽研究会の方々による琴の演奏や利用者の方によるお点前の披露などがありました。大山市長様はじめ、多くの方々にお越しいただき、盛大なひなまつり茶会となりました。



新任職員紹介

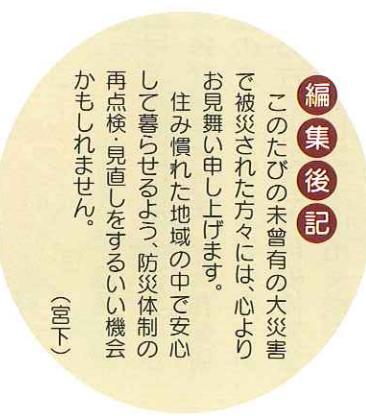


ご支援ありがとうございました。

黒間岡小大山玉マ百小香宮国氏小松松山多十元松い松中小香三か長長前長夢豊岡岡徳  
 マ  
 木シヨツ家  
 田島島林山地 西西本方 谷山井下田 山原う原村  
 精ツ四美 河え  
 昌信良憲茂青 圭恵菜恵 絹幸博正昭 德辰灯壮喜  
 肉銀  
 ざ

川木ね尾山尾幻考本武  
 県町とちう保母小小由本  
 共同募金でう幼稚学学産  
 同募金でう幼稚学学産  
 獲金でう幼稚学学産

子良一一樹果店い行一子奈子子代雄之幸美直子雄店典美倉会会科所園校校会会子正業  
 様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様



錢ま熊堀砂北羽植長長遠四原高香のさ劇佐ご小高新長吉  
 太鼓あじさい 尾尾松川ぞね團藤う原開尾川  
 野川原鹿村民絵藤短県みき藤尾川  
 謡紙新大邦保警おだマ美婦  
 三玲明由和同邦大學樂歯正良  
 好好育研究者歯は歯サ智人  
 会ベ咲河子子紀子会会男社輔科会会署ぎ科科代俊子会子  
 様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様

## ゆたか荘エコプロジェクト

太陽光パネル168枚(30.2kWh)を設置し、二酸化炭素排出量換算で年間18.3tの排出抑制を達成する計画です。一般家庭の約7軒分の発電効率があり、日中は施設使用量の約50%(晴天時)を賄うことを目標としています。化石燃料の高騰もあり、施設運営コストや居室費の値上げ抑制にも効果を期待しています。

